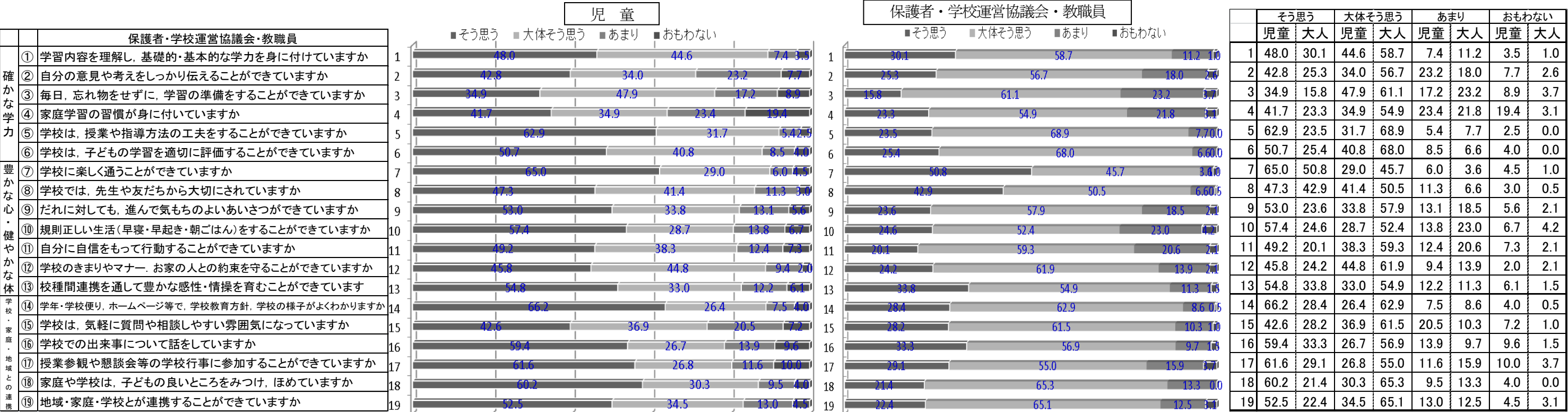


平成27年度学校評価（後期）結果について

春寒の候、保護者、地域の皆様には、平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。さて、先日は今年度、後期の『学校評価アンケート』をお願いしましたところ、たくさんの方からご回答をいただきました。また、学校運営協議会委員の皆様からも学校に対するご意見を伺いました。境谷小学校の学校評価にご協力をいただき、誠にありがとうございました。アンケート結果とともに分析結果についてご報告致します。



「確かな学力」（アンケート番号①～⑥）

・アンケートの結果、全国学力状況調査、ジョイントプログラムの結果から、全国平均を大きく上回るなど良好な結果と言えますが、一層の向上を目指すために、以下のことに重点をおいて取り組んでいきたいと思ひます。

（１）基礎的・基本的な学力の定着

☆漢字の読み書き、基本的な文法については、毎日のCCタイムにより改善が見られました。ただ文章から必要な情報を読み取る力には課題が見られます。引き続き、授業改善、読書の習慣化、ブックトーク等の取組を行い、改善していきたいと思ひます。また、グループでの話し合い活動など、協働的な学習の機会を設け、改善傾向にある思考力・判断力・表現力等のさらなる向上を目指していきたいと思ひます。



（２）家庭学習の習慣化

☆アンケート結果、全国学力状況調査質問結果から、家庭での学習の習慣化、テレビの視聴時間に課題が見られました。学校でも「家庭学習の進め方」の指導を行い、自学自習を進めることができるようにしていきたいと思ひます。また、ご家庭では、毎日決まった時間に学習する時間を確保するなど、習慣化へとつなげていただきたいと思ひます。

めやすとして、【15分×学年分】を最低基準として取り組んでいただきたいと思ひます。



「豊かな心・健やかな体」（アンケート番号⑦～⑬）

・アンケートの結果より、概ね肯定的な意見をいただいています。しかし、項目毎に見ると、課題が見られる部分があります。今後、改善するために以下のことに重点をおいて取り組んでいきたいと思ひます。

（１）楽しく学校に通うこと／先生や友だちに大切にされていること。

☆アンケート番号⑦⑧の子どもの否定的な回答が前期と比べ改善されました。しかし、10％近くあるという事実を、真摯に受け止めたいと思ひます。今後も、子どもたちとのコミュニケーションをはかり、生き生きと学校生活を送ることができるようにしていきたいと思ひます。



（２）基本的生活習慣の確立

☆保健体育や学級活動などで、基本的生活習慣の大切さについて学習し、習慣化していくことができるように、引き続きはたらきかけをしていきたいと思ひます。ご家庭でも、「早寝早起き、夜更かしをしない」「ノーテレビデー」など、規則正しい生活習慣が身に付くようによりよく願ひします。



（３）自己肯定感・自尊感情の育成

☆アンケート番号⑩について、児童・大人共、肯定的な回答増え、改善傾向にあります。児童会活動、なかよしグループ活動、クラスでの係活動等、主体的に活動することができる機会を設けてきました。また、ご家庭、学校で、子どもたちのがんばりを認め、ほめていることが自己肯定感の向上につながっていると思ひます。継続して取組を進めていきたいと思ひます。



「学校・家庭・地域との連携」（アンケート番号⑭～⑲）

・アンケート結果より、概ね肯定的な意見をいただいています。本校は学校行事や授業、前庭の整備等で、PTA、地域の方々にたくさん関わっていただき、たいへん嬉しく思っております。今後も、家庭・地域との連携をますます深めていきたいと思っておりますので、よろしく願ひいたします。

（１）開かれた学校づくり

☆アンケート番号⑮については、概ね肯定的な意見をいただいております。前期の結果に比べ、児童、保護者の方とも否定的な回答の割合が減少しました。今後も、児童、保護者の方々とコミュニケーションを図り、開かれた学校づくりに努めていきたいと思ひます。家庭・地域・学校が連携を図ることで、子どもたちの健やかな成長につながると思ひます。連携を図る機会として、保護者の皆様におかれましても、懇談会等、積極的にご参加いただければ幸いです。また、日常の学校生活で、気になること等ありましたら、学校にご相談下さい。また、スクールカウンセラーも月に2回来校しています。ご利用下さい。

（２）子どもの良いところをみつけ、ほめること

☆前期の結果に比べ、アンケート番号⑱の児童の肯定的な回答が増加すると共に、番号⑪「自信をもって行動することができますか」の肯定的な回答も増加しました。学校・家庭・地域が、子どもの良さを認め、ほめることで、子どもたちの自己肯定感・自尊感情の向上につながっているようです。子どもたちの良さを認め、ほめていくことで、自信へつなげることができるよう、今後のはたらきかけをしていきたいと思ひます。

